



平成15年 4月17日

ここのえ町

第61号

発行／九重町議会

〒879-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 0973-76-3814

編集／議会広報編集委員会

印刷／尾花印刷有限会社

議会だより



新しい議員の顔ぶれ、執行部と共に

3
月
定
例
会

- 新しい議会構成 P.2
- 第1回定例会 P.3
- 委員会報告 P.4
- 夢の大吊り橋 P.5
- 一般質問（7名登壇） P.6～12
- わたしのひとこと
南山田 佐藤 照一さん P.13
東飯田 穴井 純子さん
- こんな町にしてほしい 南山田中学校1年 吉光 美咲さん P.14

新たな16名の議員構成

あいさつ



議長 安部武己

春爛漫の候、町民の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私儀このたび九重町議会改選後の議会構成において、前期に引き続き、議長の重責を仰せつかり、身の引き締まる責任を感じています。

さて今九重町を取りまく環境は長い不況下、少子高齢化の進む中、21世紀にいかんにか生き残れるか、大きな岐路に立たされています。

国、地方を問わず財政危機の中、地方の再編が進められています。昭和の大合併から今まで、日本の人口は5割に膨らみ、都市、地方を問わず交通体系、文化、福祉の充実等々数々の社会

基盤の整備が成されてきました。だがこれから、人口は減少に転じ、今までの様な「国土の均衡ある発展」は望めません。

取り残される地域もでてきます。この様な中、将来生き残れる町創りの時です。幸いにも他町には無い恵まれた自然が有り、この立地条件を十二分に活かし、また情報化時代に対応出来るインフラの整備等進め、移り住みたい町創りをし、町民一体で頑張れば、九重町の夢は有ると確信します。当面の課題の合併は町民の合意の元、将来に禍根を残さぬよう取り組んでまいります。

議会運営委員会

副議長 佐藤美登

委員長 菅原美好
副委員長 佐々木静夫
委員 小田大九郎
委員 河野範成

委員 佐藤勝憲

委員 大石光則

総務財政常任委員会

委員長 佐々木静夫

副委員長 梅木征治

委員 河野範成

委員 麻生盛高

委員 坂本憲治

建設産業常任委員会

委員長 大石光則

副委員長 小川克己

委員 菅原美好

委員 穴井太輔

委員 江藤一幸

教育民生常任委員会

委員長 佐藤勝憲

副委員長 竹尾允文

委員 安部武己

委員 小田大九郎

委員 井上里子

委員 佐藤美登

議会広報特別委員会

委員長 佐藤美登

副委員長 小川克己

委員 佐々木静夫

委員 佐藤勝憲

委員 大石光則

委員 坂本憲治

鳴子川周辺調査特別委員会

委員長 小田大九郎

副委員長 大石光則

委員 安部武己

委員 菅原美好

委員 麻生盛高

委員 佐々木静夫

委員 竹尾允文

委員 佐藤美登

市町村合併対策特別委員会

委員長 河野範成

副委員長 穴井太輔

委員 安部武己

委員 井上里子

委員 小川克己

委員 佐藤勝憲

委員 梅木征治

委員 江藤一幸

委員 坂本憲治

委員 佐藤美登

議会の動き

1月

6日 新年互例会（玖珠町）

7日 消防特別点検（栗野運動公園）

8日 県議長会理事會（大分市）

14日 議会運営委員会 第1回臨時會

15日 日田玖珠広域議員研修會（日田市）

15日 日田玖珠広域決算審査特別委員会

23日 市町村会館管理組合定例議會（大分市）

28日 町議会議員選挙告示

2月

2日 町議会議員選挙開票 当選証書交付式

3日 第二回臨時會

17日 県議長会定期總會（大分市）

21日 鳴子川溪谷周辺整備事業関係陳情（県）

22日 ジュニアデザイン會議 模擬町議會

24日 福祉と健康と社会教育を考ふる集い

28日 町村自治確立総決起大會（東京）

3月

4日 高齢者の生きがいと健康づくり推進大會

第一回定例会

本定例会は3月5日から19日までの15日間開催されました。
議案31件を慎重に審議しました。

一般会計77億7千万円(17.5%増)

【歳入】

町税は昨年対比で5.8%減の11億33,287千円、地方交付税は4.5%減の21億、町債は107.2%増の11億8,370万円で予算編成をしています。

【歳出】

鳴子川溪谷周辺整備(大巾橋)事業や猪牟田ダム建設中止関連事業、恵良住宅建設、宝泉寺・栗原線新設工事、集会所建設事業、准園小プール建設などを計画しています。

特別会計40億91,133千万円

特別会計は国民健康保険特別会計ほか5会計を合わせて40億91,133千万円となっています。

◆ 国民健康保険特別会計

11億72,886千円

◆ 水道特別会計

2億79,102千円

◆ 同和住宅資金貸付特別会計

2,983千円

◆ 飯田高原診療所特別会計

87,561千円

◆ 老人保険特別会計

16億42,240千円

◆ 介護保険特別会計

9億6,361千円



平成15年度の 主な事業

平成15年度一般会計当初予算の主な事業は次のとおりです。

■ 民生費

・ 知的障害者施設等支援事業費
8,276万円

・ 老人ホーム措置費
7,449万円

■ 衛生費

・ 合併処理浄化槽設置補助金
2,466万円

■ 農林水産業費

・ 園芸振興総合対策事業(花き対策) 補助金
2,903万円

・ 畜産基盤再編総合整備事業負担金
2,528万円

・ 中山間地域等直接支払事業補助金
5,504万円

・ 森林整備地域活動支援交付金事業補助金
3,885万円

■ 商工費

・ 鳴子川溪谷及び周辺整備事業費
57,100万円

■ 土木費

・ 宝泉寺栗原線外工事費
26,346万円

・ 川上田尻線工事費
7,027万円

・ 北方線工事費
4,000万円

・ 恵良住宅建設工事費
38,500万円

■ 消防費

・ 防災行政無線整備事業費
7,900万円

■ 教育費

・ 准園小学校プール改築費
8,370万円

・ 集会所建設工事費
9,497万円(4ヶ所)



木造3階建てで建設される恵良住宅建設予定地

5日	本会議(開会)
"	全員協議会
"	玖珠郡任意合併協議会(玖珠町)
6日	本会議
7日	本会議
10日	教育民生常任委員会
11日	教育民生常任委員会
12日	建設産業常任委員会
13日	総務財政常任委員会
"	本会議
"	全員協議会
"	市町村合併対策特別委員会
14日	本会議(一般質問)
17日	鳴子川周辺調査特別委員会
19日	議会運営委員会
26日	本会議(閉会)
"	日田玖珠広域圏議会(日田市)
"	玖珠郡老人養護組合議会

固定資産評価 審査委員会委員

松本重徳氏の
選任に同意



平成15年3月26日付けで任期満了となる、時松星恵氏の後任の固定資産評価審査委員会委員として選任に満場一致で同意しました。

総務財政 常任委員会

★課設置条例等の一部改正については、

現在、事業を展開している鳴子川溪谷周辺整備事業の期限内完成を目指すための暫定的な措置とするものであり、**適当である**との結論に達しました。

★各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部

改正については、

費用弁償の取り扱いについて、特別職等と一般職等に区分されていないため、条例の整備をするものであり、条例の廃止と新設に伴う改正であり、**適当である**との結論に達しました。

★職員の給与に関する条例の一部改正については、

行政改革の一環として、時間外手当の内、深夜勤務手当の支給率を引き下げるための条例改正であり、**適当である**との結論に達しました。

★旧慣使用廃止については、

町有財産条例により、旧慣使用地を、尾本、南区、北区、に払い下げをすることを前提としたものであり、**適当である**との結論に達しました。

★町条例の一部改正については、

地方税法の改正により、固定資産の価格の決定等が「2月末日まで」から「3月31日まで」に改正されたことに伴う第一期の納期を改正するものであり、**適当である**との結論に達しました。

★納税組合及び組合長手当支給条例の一部改正については、

納税組合長が町税の徴収並びに金融機関に納入する際における不慮の事故に備え、全国町村会総合賠償保障保険に該当させるため改正するものであり、**適当である**との結論に達しました。

★九重町過疎地域自立促進計画の一部変更については、

現在の実施計画の中に、産業の振興では、養豚生産基盤強化施設整備事業、更に、森林の多面的機能の発揮、森林現況調査や地域活動支援の交付金制度創設、生活環境整備として消防施設整備、教育の振興では、中学校コンピュータ購入事業の4件を加えるものであり、**適当である**との結論に達しました。

建設産業 常任委員会

★林業構造改善事業協議会設置条例の廃止については、

これまで町段階で行ってきた計画の作成を、今後は

県段階で行うことになったため、協議会はないことから、**適当である**との結論に達しました。

★九重町森林委員会設置条例の制定については、

森林整備計画の実行に当たって、地域との合意形成を図るため、広く意見を聴取する場が必要であることから、**適当である**との結論に達しました。

★簡易水道事業条例の一部改正については、

水道法の改正により水道事業者及び、貯水槽設置者の責任を定めるものであり、**適当である**との結論に達しました。

教育民生 常任委員会

★九重町老人はりきゅう施術料助成に関する条例の一部改正については、

はり・きゅう施術料においては助成がなされており、今回、あんま施術料を追加することによって、更に医療費の抑制に繋がるしまた指定業者を町内から郡内へ

と拡充することは、利用者の利便性を高めるものであることから**適当である**との結論に達しました。

★国民健康保険条例の一部改正については、

平成14年10月の医療制度改革に伴い、国民健康保険法が改正されたことにより、平成15年4月1日から国民健康保険退職者医療制度もこれに準じて、一部負担割合を2割から3割に変更するものであり、**適当である**との結論に達しました。

★九重町介護保険条例の一部改正については、

介護保険事業における保険料については、3年毎に見直しを行うことになっており、今回の見直しに当たっては保険料率の改定はなく、その適用期間の変更であり、**適当である**との結論に達しました。

★各種集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正については、

北恵良2地区集会所の建設により追加するものであり、**適当である**との結論に達しました。

架けよう 夢の大吊橋

完成予想図



鳴子川溪谷大吊橋建設で地域浮揚が期待される

長さ 390m（日本一）、高さ173m（日本一）、幅1.5m

日本一の大吊橋として観光と農業を結びつけ、
町の発展の正に掛け橋としてつなげたいものです。

私の一般質問

3月14日に7名が質問しました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

江藤 一幸



農薬新法の周知

問 農薬取締法が改正され、3月10日より施行された。改正法では、使用者にも責任が問われ違反した場合は、3年以下の懲役もしくは100万円以下の罰金が課せられます。この事に対して周知徹底を、トレーサビリティ（履歴栽培記録）の推進も合せてされたらと思うがいかがか。

答 学校給食では、どう対応されるか。

〈関係者への指導強化〉

答 管内の農協、各部会、生産者等には、農薬取締法の研修会、また広報等を活用して指導して行きます。給食センターについては町内産米、野菜、県内産の

牛肉、牛乳等ありますが、今後も引き続き、地産地消の取り組みを推進して行く



J A 玖珠九重加工所にて

とともに、納入業者、団体等にも説明指導を行います。

韓国での

『キムチ』研修を

問 施政方針で『地産地消農業の確立に努めるとともに、魅力ある農産加工品の開発および加工グループの育成に努める』と有りますが、現状と展望は。

答 韓国オジョン農協と10年の子ども交流が続いています。加工グループや希望者を募って、本場仕込みのキムチ加工を考えたらどうか、検討されたい。

〈支援します加工品〉

答 ブルーベリーの加工については準備検討中です。色々な加工品が出来る様に支援して行きます。

キムチ研修については、漫然と行くのではなくしっかりと目的意識をもてば支援を考えます。



学力の基礎・ 基本定着を！

問 新学習指導要領と完全学校週5日制の実施による、我町の児童生徒の学力の実態は、学習内容が従来より30%削減、授業時間も約20%削減された。今まで以上に確実に基礎・基本が定着したか判断できる方法は。教師の授業評価とレベルアップはどうする。

全国的には取り組みが始まったばかりですが、2学期制の調査・研究を!!

〈大分県は40位〉

答 全国レベルでは大分県は40位前後です。現在小学校ごとに、知能検査と標準学力検査を実施しており、テスト結果を分析しながら指導方法等を検討し学力向上に向けて取り組んでいる状況です。2学期制については県内では高校で2校あります。2学期制実施校の状況等調査しながら、プラスになれば検討したい。

幼保一体化施設は計画どおり4地区に

井上 里子



問 幼稚園での2年保育が始まって1年になる。4才児の入園が全体的に少ないが、幼稚園に2年保育制度を設けた以上、4・5才児は全員入園できるようにし、同時に、保育の必要な子どもには、土曜日を含めて保育を保障すべきである。

16年度から4地区でも実施を要望する。

幼保一体化施設を4地区に建設する計画が昨年4月に決まっていたのに、昨

日、「施設を一カ所に統合して整備する」と計画変更が提案された。働きながら子育てする親や園児の立場

立っていないし、場当たり的な行政手法である。計画どおり、4地区に整備すべきである。

〈一カ所で今後考えたい〉

答 指摘の完全なものでない幼保の一体化でスタートしましたが理想は合築して幼稚園に4・5歳児が行き、午後、保育園に一部4歳児が帰るなどの方法で考えていたが、当初計画の4地区に保育園と幼稚園を合築するととなると7カ所建てなければならぬ。国の財政事情も悪く年次計画の補助に

が不透明であり約10億以上の金がかかりそうで、それを1カ所にすれば半分以下で建設できることや保護者のニーズにこたえるために計画変更をしたいと考えています。保護者の皆さんには9月ごろまでに説明しながら理解を求めていきたいと思っています。



木の実保育園で元気に遊ぶ園児

合併問題最終結論に

民意の十分な反映を

問 町は近隣町との広域合併を目指し、相手町への働きかけを行なっているが、それと並行して町民の間でもっと広範に合併論議を深めることが必要ではないか。

昨年6月末に行なわれた行政区懇談会は参加者の大部分が世帯主であり（参加率は世帯数の58%）、住民

が合併問題について考え始めるきっかけになった点で意義があつたが、論議は深まっていなかった。再度、女性や若・中年層が多く参加できる中規模懇談会を開催し、議論を重ねた後、住民の意思を最終結論に反映させる一つの方法として全有権者の意識調査の実施を望む。



庁舎内事務所にて

〈民意を十分に反映〉

答 合併論議はきめ細かくやつて来たと思つています。タウンミーティングや行政区毎の懇談会や商工青年部や女性部、PTAなど説明をし意見も聞きました。これで満足とは思っていません。要望があればいつ

でも出て行きますが、再度、町民意識を問うということも選択としてあるかもしれませんが、逆に町民に混乱を生じさせることも考えられますので現段階では住民の意思が反映できるよう努力したいと思つています。

麻生 盛高



地区公民館の充実 南山田公民館の 改修は

問 昭和43年に建設されています。この建物は4地区の合併と同時に町の支所として地区住民に大きな役割を果たして来た所です。支所も廃止になり引き続き地区公民館として住民の活動の拠点の場としてなくてはならない館となっています。現在利用者も多く年間を通じて13,998人という大変多くの住民が利用しており、地域の発展につながっていると思います。このような建物も合併と同時に4地区に存在し、それぞれ役割をはたしているがこのような建物も老朽化し

て来ており、特に南山田公民館については古さがひどいと感じている。また野上飯田も同じ事だと思うが今後の対策としてどのようなか考えているか。

〈地域活動の拠点〉

答 老朽化が進んでいるのは事実であります。いろいろな形で施設の利用ができないか調整、検討して今後の有効利用を考えてみたいと思います。



老朽化が進んでいる南山田公民館

スポーツ振興

多目的グラウンドの整備及び 周辺の整備について

問 多目的グラウンドを始め、スポーツ施設が整い地域のスポーツ活動の普及の場として他の町村と比較しても負けない整備ができています。二巡目国体が2008年

に開催される。人工芝の為に早めに計画実行したかどうか。又グラウンド周囲にジョギングコースを作ったかどうかと思う。



国体に向けて整備される多目的グラウンド

〈ウォーキングコースができないか検討〉

答 ジョギングコースについては、現在多目的グラウンドの下を駐車場として舗装しています。

その周辺を探索しながらウォーキングコースで使えるか調査しながら方向性をさぐってみます。

河野 範成



行政改革の

推進は

問 今年は前年対比11億強の77億7千万円の大型予算が組まれたことは大変喜ばしいこと、しかし予定外の退職が多数と聴く。事業課に集中する各課からの事業遂行はできるか、技術職の充実も含め態勢強化を。

〈臨時などで対応〉

答 大きな事業にあわせて採用とはならず臨時あるいは技術センターからの短期間の技術援助の支援等を行いながら難局を乗り切っていきたいと考えています。

職員の意識改革は

問 今日では国の膨大な財政赤字、そして地方分権、更には町村合併と地方をとりまく環境はきわめて厳しい状況にある。これからは地方自治体の真価が問われ

る時代、アイデアを出し執行部、職員一丸となって地方自治の原点に帰り職務遂行に専念すべき、喚起に期待する。



庁舎内にて事務事業にたずさわる職員

〈さらに努力を〉

答 職員は全体の奉仕者として誠実に取り組んでいかなければなりません。地方分権の時代であり国と地方は対等、そして自己決定、自己責任、という方向へと

向いており、今以上に仕事は重大かつ責任のあるものでこれから努力しなければと思っています。

ふるさと館の運営は

問 JA玖珠九重の様変わりて再契約はどうなるのか。今年3月5年契約の期限が切れる。地元産品の販売、更には観光案内等ふるさと

館のもつ意義は重要である。加工食品の販売も好評だった。JA工房の稼動に向けての支援はできないか、今後の動向が気になります。

〈責任を持って対応〉

答 農協が事業主体として、当面2年契約で運営をやり町産品も多く販売され、有名になった加工品もありま

すから、あと農協が撤退するとすれば、町が責任を持つてやるということは申し上げておきたいと思っています。



今後の運営が気になるふるさと館

緑越明許費が多いが何が問題か



佐藤 勝憲

問 今回の補正では緑越明許が多い猪牟田ダム関連の工事が多くなったために職員の対応が来ず、工事発注が出来ず緑越明許が多く成り、また宝泉寺栗原線の土地問題もあるのでは。それと職員にも無理があるのではないかと思われる。職員の配置を考えてもらいたい。

また、宝泉寺栗原線に代って又緑越明許となった。話に聞

くと、土地の話がついていないとの事であり、他の町道は地元の人が土地を提供するのが筋と思う。宝泉寺の場合は町が土地の買い上げまでしているのに地元が

土地の交渉ができずとは他の町民に話ができず地元の誠意がないように見える。地元の誠意が見えるまで、工事を中止することも考えてもらいたい。

〈用地交渉などできない〉

答 緑越明許が18件の4億4千万ほどあります。例年になく多いのも事実でございます。原因としては悪天候や用地交渉などと思うように進まなかったことや中橋関連や猪牟田ダム中止に伴う事業が多発したことが原因と思われます。今後5年間ぐらいは事業が集中しますが、委託に出したり民

間から臨時を入れて対応しながらスムーズな事業消化に努めたいと思います。宝泉寺栗原線については地元交渉を積極的に行なっていますが2名の方の了解が得られていません。地元期成会などを通じて働きかけを強めていきたいと思います。



宝泉寺栗原線（宝泉寺旅館街）

風力発電事業化は厳しいか



ドリーム九重敷地内の林道

ドリーム九重開発は

問 ドリーム九重開発について風力発電はその後はどうなっているのか。説明に來てから2年近く成るが、一度も話がないがどうなっているのか。

ドリーム九重の敷地内の林道はどうなっているか。林道の設備を早急にしてもらいたい地元の人が大変苦労している。

〈事業化は厳しいようだ〉

答 風力発電の件については企業から平成12年に調査の申し入れがあり地元と協議をして調査の同意をいただいて風況調査を実施していますが、年平均の風速が5・7mをクリアできずに事業化は極めて難しいとの

報告を受けております。林道整備については企業が改良するという事で買収も設計も終了しています。が開発計画の凍結と同時に道路もそのままの状態になっています。

幼保一体化 スタート後わずか1年で計画変更とは



小川 克己

問 14年度スタートしたばかりの幼保一体化、わずか1年で根幹部分の施設で計画変更とは、あまりにも場当たりのではないか。

答 現行の九重町方式では、まず施設の共用が出来にくい、措置費の問題で新たな財政負担を強いなどの理由で、昨年私

は14年度実施を強引にしないで、昨年私



木の葉保育園にて元気に遊ぶ園児

くてもいいのではないかと再三指摘したが、スタート後わずか1年で施設の計画変更を考えているようだが住民のコンセンサス等を考

える時に、行政不信を招くと同時に議会軽視でもある、私としては納得できないがどうか。

〈保護者の多様なニーズなどで〉

答 保護者から一刻も早い導入をと強い要望に答えて

スタートしたところ結果的に4歳児の大半が保育園にとどまったと言うのが現実

です。新年度も入園希望の状況は半々です。しかし就

学前教育の充実と機会均等

という点から保護者の多様なニーズに答えるためにも

計画変更を考えているところ

です。今後、保護者の皆さんの御意見を聞き、進むべき方向をさぐりたいと思います。

答 住民の皆さんの意見を大切にしながら、今後、大字別とか校区別とか回って合併に反映すべく努力をしていきたいと思いますが、ご指摘の住民投票については選択肢の一つと思いますが、必ずしも住民投票

〈住民投票は考えていない〉

問 市町村合併問題は本町としても、いよいよ大づめを迎えた。最終結論は、民意を反映して住民投票などをすべきではないか。現状は強制合併の方向付けをされる状態になっている。小規模町村こそ、過疎化の中

で日本国土の荒廃を防いできた地方分権化の中、国、県、町は互いに対等な立場で自己責任のもと地域づくり町づくりを進めている。住民参加のもと合併論議をすべきではないか。

答 市町村合併問題は本町としても、いよいよ大づめを迎えた。最終結論は、民意を反映して住民投票などをすべきではないか。現状は強制合併の方向付けをされる状態になっている。小規模町村こそ、過疎化の中

がいいとは思っていません。賛否に分かれ対立の構造が出来たりとかで現段階では否定をするものではないが、皆さんが今のところ考えはないということでご理解いただきたいと思います。



玖珠郡任意合併協議会事務所

「市町村合併は民意を反映すべきでは」 住民投票を

廃牛（死亡牛）の処理は

梅木 征治



問 BSE（牛海綿状脳症）対策特別措置法と関係法令の改正により、死亡牛の届出などが義務化されて、検査料が15、000円、運搬料が25、000円、計40、000円を、農家が全額支払い内一部が畜産協会より助成があるが、現在多頭の飼育農家が多い中で、農家負担が重すぎる、助成は考えられないか、また、関係機関への働きかけは。

〈対応について検討〉

答 県内では化製場がないので長崎で処理をすることになります。したがって経費も高くなりますので今後、県や関係町村と対応等につ

いて協議をしてみます。また、県内に化製処理場をつくるべき要請を強く町村会や畜産関係を通じて行なっていきたいと思っています。



子牛価額が安定し、将来が期待される畜産農家

集落名を表す案内板の設置を

問 町内の重要な場所には、観光案内等は整理されているが、小さな集落や要所に道しるべの表示があると非常に便利で良いのでは。またそこに住む人の温を感じ

る。また九重町は観光の町、近年農家民泊をすすめる中で、集落の良さの再発見につながるのでは。金をかけない設置をすすめては。



好評の案内板（口の園・相狭間地区）

〈自らの地域で主体的に〉

答 町内も広く町道356本あり総延長約300キロその他に農道、林道などもあり町外者はわかりにくいと思いますが町として行政区ごとの看板設置は考えておりません。したがってゴ

それぞれの地域で自主的に設置をしていただく方が、地域おこしにもなっているのではないかと思います。区長会などで協議し行政区ごとに設置に向けて指導をしていきたいと思っています。



佐藤照一さん

少子高齢化 に思う

最近めっきり老人が増えた。いや、増えたのではなく若者が流出してしまったという事であろう。

昭和20年代戦後の急速な人口増の始まりに生まれた私達は今流に云えば団塊の世代として戦後の日本の復興に陰に陽に貢献して来た。

戦後の目覚ましい経済成長は都市に集中して働く場所を拡大し経済界は地方の空洞化等お構いなしに人材を吸収し政治も地方にはほとんど目を向けなかったと言っている。やがてバブルが終わり経済成長は鈍ったが、まだ国民の心にはあの栄華が続いているのである。

今では死語同然となった「辛抱」という言葉、まだ「浪費こそ美德」の言葉が

先歩きしている現在、収入の落ち込みを子どもの出生制限でおぎなうという悲しい現実を目の当たりにしているのである。10年前、従兄弟の長男が結婚し先日会った機会に恵まれ子どもは何人かとたずねたら一人しか育てる余裕がないとの返事である。せめて二人以上育てて兄弟喧嘩や人付き合いの訓練をしないと社会人になつたときの対応がうまく出来ず、きれるという事にならないだろうか。

これから必ず地方の時代へと変化するだろう。その地方も高齢化が進み若者の姿が半減している。もう一度地方を見直し食料の生産や地方の特産を見つける事が急務だと思われる。



元気な表情で卒園式に臨む

わたしのひとこと



穴井純子さん

今、思うこと

先日、突然腰が痛くなった。筋肉痛か、それともギックリ腰か？何か普通と違った仕事をしたわけでも重い荷物を持ったわけでもないのに。日に日に良くなるのだが、又、痛くなるのではとちよつと不安です。

周りの人は病院へ行ったら、とか、整体に行ったらと言ってくれるけど、今まで病院と薬に縁のない生活だったので病院へ行く気にもならないのです。友人が

「もう年よ」と言います。そう私も50代、そう言われる年になったのです。これも老化現象の一つでしょうか。このまま生活に流されて、人生終るのは私の頭がない事です。人生楽あり苦あり、プラスマイナス・ゼロだと思っているのですが、楽が少し足りないのです。

気ままに旅行したり、のんびり趣味を楽しみたいのには。でも、世の中、暗い事ばかり。これから先どうなるのでしょうか。私達中年族より未来ある若い人達はどうでしょう。

親の代より豊かになれないような、明るい右肩上がりの未来なんて空々しく感じられる今、終りのない日常の生活を、物より、時間と心豊かなくらしができればと思う。



こんな町にしたい

地域での
ふれあいを

南山田中学校1年

吉光 美咲さん



私の住みたい町の理想は、田んぼや山などの自然が多く、近所の人、地域の人たちと協力してするイベントなどを行う町です。

まず、自然は、田んぼを作る農家が減っているので、肥料を安くしたり、米の値段を高くしたり、ほかの県や外国の米をできるだけ売らないことが大切だと思います。私の家も米をたくさん作っているけど、近所で

議員リレー

随想

31

頭が下がる出会



佐藤 美登

季節が春から初夏へ衣がえする前後、どの学校も卒業、入学式を行う。そこで

必ず目に入るのが卒業証書を校長先生から受け取る際の生徒像。みんなていねいにお辞儀をする。私がこのシーンを見る度に思うのは生徒は「頭を下げているのか」「それとも「頭が下がっているのだろうか」という点だ。「下げる」と「下がる」は外形こそ同じだが内心はずいぶん違う。私たち大人が「頭を下げる」のは頼みごとか決まりごとの場合が多い。所詮はエゴに基づくポーズである。

は、年々米づくりをやめている家が多くなっているからです。

次にイベントについては、地域でのふれあいを第一として、芸をひろうする、特産物のはん売などをする。ふるさと祭り、公民館まつりなどを充実し、お年寄も、気軽に参加できるように工夫すると思います。また、町民の人にアンケートを取ったりしながら、町をよりよくしていくといい

片や「頭が下がる」のはお世話になったことへの感謝の念を秘めている。極めて自然なポーズである。お辞儀の社会をランク・アップすると拝むという世界がある。

よく昔から「親と先祖、そして太陽は幾ら拝んでも拝み足りない」と言われてきた。なぜだろうか、それは人間の命の源泉だからである。お互いが生れたのは親や先祖があればこそ、そして生き続けてこれたのは太陽や地球という宇宙があればこそ。この真実が存在するから人の命は限りなく

と思います。そして、子ども、大人、老人が楽しく安心して暮らせる町になってほしいです。



町文化祭で踊りを披露する子ども

尊いのである。ところが最近の世相はこの真実に気づかない者や見失った人達が増えてきた。親子が殺し合ったり、環境破壊など空おそろしい事件が続発する元凶。同時に日本人が大切にしてきた「和の感性」まで蝕んできた。お互いは頭を「下げる場」より下げる出会いを重ねる方が人生の深味を増す。そして拝む世界を謙虚に受けとめ身につけてこそ地域社会の灯になれる。私が社会人としての卒業証書を受け取るには、まだまだ長い歳月がかかりそうである。



ついにイラク戦争が3月20日に始まった。我々はまずガソリンの価格が気にならない。イラクの人達は飲料水がない。どちらが大切だろうか。私達の周りには、豊かな、きれいな、安心して飲める水がいたるところに流れている。いつもは、あまり気にしていなかった「水」テレビ放映を見ながら、九重町に生まれて良かった。山も川も空気も言う事なし。いつまでも大切に受け継いで行きたいものです。(K・S)

広報委員長 佐藤 美登
広報副委員長 小川 克己
広報委員 佐々木 静夫

佐藤 勝憲
大石 光則
坂本 憲治



廃牛（死亡牛）の処理は

梅木 征治



問 BSE（牛海綿状脳症）対策特別措置法と関係法令の改正により、死亡牛の届出などが義務化されて、検査料が15、000円、運搬料が25、000円、計40、000円を、農家が全額支払い内一部が畜産協会より助成があるが、現在多頭の飼育農家が多い中で、農家負担が重すぎる、助成は考えられないか、また、関係機関への働きかけは。

〈対応について検討〉

答 県内では化製場がないので長崎で処理をすることになります。したがって経費も高くなりますので今後、県や関係町村と対応等につ

いて協議をしてみます。また、県内に化製処理場をつくるべき要請を強く町村会や畜産関係を通じて行なっていきたいと思っています。

集落名を表す案内板の設置を

問 町内の重要な場所には、観光案内等は整理されているが、小さな集落や要所に道しるべの表示があると非常に便利で良いのでは。またそこに住む人の温を感じ

る。また九重町は観光の町、近年農家民泊をすすめる中で、集落の良さの再発見につながるのでは。金をかけない設置をすすめては。



子牛価額が安定し、将来が期待される畜産農家



好評の案内板（口の園・相狭間地区）

〈自らの地域で主体的に〉

答 町内も広く町道356本あり総延長約300キロその他に農道、林道などもあり町外者はわかりにくいと思いますが町として行政区ごとの看板設置は考えておりません。したがってゴミステーションみたいに、

それぞれの地域で自主的に設置をしていただく方が、地域おこしにもなっているのではないかと思います。区長会などで協議し行政区ごとに設置に向けて指導をしていきたいと思っています。



佐藤照一さん

少子高齢化 に思う

最近めっきり老人が増えた。いや、増えたのではなく若者が流出してしまったという事であろう。

昭和20年代戦後の急速な人口増の始まりに生まれた私達は今流に云えば団塊の世代として戦後の日本の復興に陰に陽に貢献して来た。戦後の目覚ましい経済成長は都市に集中して働く場所を拡大し経済界は地方の空洞化等構いなしに人材を吸収し政治も地方にはほとんど目を向けなかったと言っている。やがてバブルが終わり経済成長は鈍ったが、まだ国民の心にはあの栄華が続いているのである。

今では死語同然となった「辛抱」という言葉、まだ「浪費こそ美德」の言葉が

先歩きしている現在、収入の落ち込みを子どもの出生制限でおぎなうという悲しい現実を目の当たりにしているのである。10年前、従兄弟の長男が結婚し先日会った機会に恵まれ子どもは何人かとたずねたら一人しか育てる余裕がないとの返事である。せめて二人以上育てて兄弟喧嘩や人付き合いの訓練をしないと社会人になつたときの対応がうまく出来ず、きれるという事にならないだろうか。

これからは必ず地方の時代へと変化するだろう。その地方も高齢化が進み若者の姿が半減している。もう一度地方を見直し食料の生産や地方の特産を見つける事が急務だと思われる。



元気な表情で卒園式に臨む

わたしのひとこと



穴井純子さん

今、思うこと

先日、突然腰が痛くなった。筋肉痛か、それともギックリ腰か？何か普通と違った仕事をしたわけでも重い荷物を持ったわけでもないのに。日に日に良くなるのだが、又、痛くなるのはとちよつと不安です。

周りの人は病院へ行ったら、とか、整体に行ったらと言ってくれるけど、今まで病院と薬に縁のない生活だったので病院へ行く気にもならないのです。友人が

「もう年よ」と言います。そう私も50代、そう言われる年になったのです。これも老化現象の一つでしょうか。このまま生活に流されて、人生終るのは私の頭がない事です。人生楽あり苦あり、プラスマイナス・ゼロだと思っているのですが、楽が少し足りないのです。

気ままに旅行したり、のんびり趣味を楽しみたいのには。でも、世の中、暗い事ばかり。これから先どうなるのでしょうか。私達中年族より未来ある若い人達はどうでしょう。

親の代より豊かになれないような、明るい右肩上がりの未来なんて空々しく感じられる今、終りのない日常の生活を、物より、時間と心豊かなくらしができればと思う。



こんな町にしたい

地域での
ふれあいを

南山田中学校1年

吉光 美咲さん



私の住みたい町の理想は、田んぼや山などの自然が多く、近所の人、地域の人たちと協力してするイベントなどを行う町です。

まず、自然は、田んぼを作る農家が減っているので、肥料を安くしたり、米の値段を高くしたり、ほかの県や外国の米をできるだけ売らないことが大切だと思います。私の家も米をたくさん作っているけど、近所で

議員リレー

随想

31

頭が下がる出会



佐藤 美登

季節が春から初夏へ衣がえする前後、どの学校も卒業、入学式を行う。そこで

必ず目に入るのが卒業証書を校長先生から受け取る際の生徒像。みんなていねいにお辞儀をする。私がこのシーンを見る度に思うのは生徒は「頭を下げているのか」「それとも「頭が下がっているのだろうか」という点だ。「下げる」と「下がる」は外形こそ同じだが内心はずいぶん違う。私たち大人が「頭を下げる」のは頼みごとか決まりごとの場合が多い。所詮はエゴに基づくポーズである。

は、年々米づくりをやめている家が多くなっているからです。

次にイベントについては、地域でのふれあいを第一として、芸をひろうする、特産物のはん売などをする。ふるさと祭り、公民館まつりなどを充実し、お年寄も、気軽に参加できるように工夫すると思います。また、町民の人にアンケートを取ったりしながら、町をよりよくしていくといい

片や「頭が下がる」のはお世話になったことへの感謝の念を秘めている。極めて自然なポーズである。お辞儀の社会をランク・アップすると拝むという世界がある。

よく昔から「親と先祖、そして太陽は幾ら拝んでも拝み足りない」と言われてきた。なぜだろうか、それは人間の命の源泉だからである。お互いが生れたのは親や先祖があればこそ、そして生き続けてこれたのは太陽や地球という宇宙があればこそ。この真実が存在するから人の命は限りなく

と思います。そして、子ども、大人、老人が楽しく安心して暮らせる町になってほしいです。



町文化祭で踊りを披露する子ども

尊いのである。ところが最近の世相はこの真実に気づかない者や見失った人達が増えてきた。親子が殺し合ったり、環境破壊など空おそろしい事件が続発する元凶。同時に日本人が大切にしてきた「和の感性」まで蝕んできた。お互いは頭を「下げる場」より下げる出会いを重ねる方が人生の深味を増す。そして拝む世界を謙虚に受けとめ身につけてこそ地域社会の灯になれる。私が社会人としての卒業証書を受け取るには、まだまだ長い歳月がかかりそうである。



ついにイラク戦争が3月20日に始まった。我々はまずガソリンの価格が気にならない。イラクの人達は飲料水がない。どちらが大切だろうか。私達の周りには、豊かな、きれいな、安心して飲める水がいたるところに流れている。いつもは、あまり気にしていなかった「水」テレビ放映を見ながら、九重町に生まれて良かった。山も川も空気も言う事なし。いつまでも大切に受け継いで行きたいものです。(K・S)

広報委員長 佐藤 美登
広報副委員長 小川 克己
広報委員 佐々木 静夫

佐藤 勝憲
大石 光則
坂本 憲治

